

令和 6 年度 事業報告

自 令和 6 年 8 月 1 日

至 令和 7 年 7 月 31 日

公益財団法人日本障害者スキー連盟

東京都港区赤坂 1 丁目 2 番 2 号

1. 強化5チーム

アルペン身体チーム

アルペン ID チーム

ノルディック身体チーム

ノルディック ID チーム

スノーボード身体チーム

2. 各本部・委員会

総務・財務委員会

法務倫理委員会

ダイバーシティ委員会

マーケティング委員会

広報委員会

医科学情報委員会

アンチ・ドーピング委員会

強化本部

競技大会本部

選手委員会

用具技術開発委員会

普及委員会

VI-WG

2024年度事業報告書
(パラアルペンスキーチーム)

事業の成果	【選手強化活動事業】世界選手権、ワールドカップ、アジアカップ、FISレース成績 <森井大輝> 世界選手権：GS 4 位、SL 8 位 ワールドカップ：GS 4 位、4 位 / SL 3 位 アジアカップ：GS 1 1 位 / SL 1 位、1 位 <鈴木猛史> 世界選手権：GS DNF、SL DNF ワールドカップ：SG 7 位、6 位 / GS 7 位、9 位、1 3 位 / SL 2 位、4 位、3 位、5 位、3 位 アジアカップ：GS 2 位 / SL 2 位、2 位 FIS レース：SG 8 位 <村岡桃佳> 世界選手権：GS 1 位、SL 6 位 ワールドカップ：SG 1 位、2 位 / AC 3 位 / GS 2 位、2 位、2 位、1 位、1 位 / SL 2 位、2 位、2 位 FIS レース：SG 2 位 <本堂杏実> 世界選手権：GS 9 位 / SL 9 位 ワールドカップ：AC 5 位 / SG 5 位、4 位 / GS 5 位、6 位、9 位、8 位 / SL 3 位、5 位、4 位、6 位、6 位 アジアカップ：GS 1 1 位 / SL 1 位、1 位 FIS レース：SG 3 位 <高橋幸平> 世界選手権：GS 2 3 位 / SL 1 0 位 ワールドカップ：GS 2 1 位、1 7 位 / SL 1 3 位 アジアカップ：GS 2 位 / SL 1 位、1 位 FIS レース：SL 5 位、5 位 <小池岳太> 世界選手権：GS 1 5 位 ワールドカップ：SG 1 9 位、1 6 位 / GS 1 6 位、1 6 位、1 4 位 アジアカップ：GS 1 位 / SL 2 位、2 位 <青木大和> アジアカップ：SL 3 位 【次世代育成事業】世界選手権、ワールドカップ、アジアカップ、FISレース成績 <塚原心太郎> 世界選手権：GS 1 8 位 / SL 1 9 位 ワールドカップ：SL 8 位
事業に対する 評価	【海外派遣事業】 2024年度海外派遣事業（海外合宿、チーム派遣）は、選手強化で6事業、次世代で3事業実施した。 2025世界選手権は、雪不足の影響でスピード系種目が全てキャンセルとなり予定されていた5種目から2種目へととなった。そのような中、2年半振りにアルペンスキーに復帰した村岡選手が大回転で金メダルを獲得したことは高く評価できる。 2024/2025ワールドカップシリーズ全体では、日本チームで金3個、銀8個、銅5個、合計16個のメダルを獲得していることは、強化が順調に進んでいると評価する。 また、ワールドカップ総合では、村岡が3位に入り、種目別でもGS2位、SL3位、SG3位を獲得し、2年半のブランクがありながらも戦えるレベルにあることが証明できた 【国内派遣事業】 2024年度国内派遣事業は、選手強化で8事業、次世代で6事業実施した。 オフシーズンは、選手強化、次世代共にNTC競技別強化拠点である菅平高原においてフィジカルトレーニング合宿やJISSにおいて体力測定を実施した。 シーズン中は、菅平バインビークスキー場にてコースを占有して充実した合宿を実施することができた。 【DX事業】 2024年度のDX事業は、立位選手はスキーシミュレーションマシン(Sky Tech)を使って夏場の間からスキーの感覚を研ぎ澄ませ、ポジションや身体の使い方のトレーニングを実施した。 座位選手は、オンラインを活用しチェアスキーに重要な体幹のトレーニングを実施した。
選手強化体制整備に 関する課題及びその 取組方法	【選手強化】 2024/2025シーズンは、マイルストーンで設定していた世界選手権おいてのメダル獲得は、種目変更の影響で目標メダル数には達しなかったが、ワールドカップシリーズ全体を見ると合計16個のメダルを獲得し、前年度のメダル3個に比べ大きく前進した。 昨年の課題として、1名の決まった選手のためのメダル獲得では無く種目によって多くの選手がメダルを獲得できるようになる事をあげていたが、2024/25シーズンは4名の選手がワールドカップでメダルを獲得。課題をクリアし日本チームとしての総力が上がってきている。 2025/26シーズンは、ミラノ・コルティナ2026パラリンピックにおいても複数の選手がメダルを獲得する事を前提に「座位クラスにおいての金メダルを含む複数個メダル獲得。立位カテゴリーにおいてのメダル獲得」を目標を掲げている。 その為には、雪上トレーニング期で滑走量を稼ぎ技術習得に重点を置き、レース期にはコンディショニングの調整を図り、パラリンピック本番で選手がもてるベストなパフォーマンスが発揮できるように取り組んでいく。 【体制整備事業】 令和6年度の体制整備事業の内容としては、チームミーティング、スタッフミーティングの他JPCハイパフォーマンスマネジメントチーム主催のJPC強化スタッフ研修会への参加など、知識や情報を身に付ける為の事業にも参加した。 取組方法としては、チームミーティングやスタッフ会議などは遠方の選手やスタッフも参加しやすいようにリモートを使用して実施した。 【その他】 <強化会議> オフシーズン中にチーム全体会議、強化スタッフミーティング（リモート）を行い情報の伝達と共有、スタッフと選手間のコミュニケーション強化を図った。また、シーズンに近づくにつれ、チームミーティング（リモート）は隔週で頻度を上げて実施した。オフシーズンもオンシーズンも都度合宿、トレーニング先でのミーティングを実施。 他にNTC機能強化会議（競技別強化拠点）への参加。 <選手発掘> 第8期J-STARプロジェクト検証プログラムの実施（座位男子1名）→育成指定への引き上げ

		事業の内容	事業名	実施場所	期間
1	選手強化活動事業	国内合宿	第2回JISSフィジカル合宿（0801）	ハイパフォーマンススポーツセンター（JISS）（東京都北区）	8/1 ～ 8/5
2		国内合宿	JISS低酸素順化合宿(0813)	国立スポーツ科学センター（東京都北区）	8/13 ～ 8/19
3		海外合宿	夏季海外強化遠征(0819)	バジェネバド(チリ)	8/19 ～ 9/8
4		国内合宿	9月フィジカルトレーニング合宿（0923）	パラアルペン強化拠点（長野県・菅平高原）	9/23 ～ 9/29
5		国内合宿	第3回JISS体力測定＆MC合宿（1003）	国立スポーツ科学センター（東京都北区）	10/3 ～ 10/10
6		チーム派遣	第1回海外強化遠征（1026）	イタリア	10/26 ～ 12/23
7		チーム派遣	海外強化遠征（クラス分け）（1124）	ミッタージル（レスターヘーエー）（オーストリア）	11/24 ～ 12/5
8		国内合宿	1月国内雪上合宿（0104）	パラアルペン強化拠点（菅平高原バインピークススキー場、菅平アリーナ）（長野県上田市）	1/4 ～ 1/15
9		チーム派遣	第2回海外強化遠征（0108）	イタリア・タルビジョ/ドイツ・フェルトベルク/イタリア・コルティナ/スロベニア・マリボル	1/8 ～ 2/13
10		国内合宿	2月国内雪上合宿（0221）	パラアルペン強化拠点（菅平バインピークススキー場、菅平アリーナ）（長野県上田市）	2/21 ～ 3/3
11		チーム派遣	第3回海外強化遠征（0307）	イタリア（セッラネヴェア、コルティナ）、スイス（ヴェゾナ）	3/7 ～ 3/31
12		チーム派遣	4月海外強化遠征（0401）	イタリア（コルティナ）	4/1 ～ 4/8
13		国内合宿	7月フィジカルトレーニング合宿（0707）	パラアルペン強化拠点（菅平アリーナ、菅平サニパーク、長野NATSトランポリンクラブ）	7/7 ～ 7/11
14		国内合宿	7月JISS中間FC測定＆MC（0730）	国立スポーツ科学センター（東京都北区）	7/30 ～ 7/31
1	事業体制	その他	メディカルチェック（1021）	各医療機関	10/21 ～ 10/21
					～
1	促進支援活動のDX	国内合宿	8月Ski&Fit（0808）	神奈川県横浜市	8/8 ～ 8/8
2		国内合宿	8月オンライン体幹トレーニング（0813）	オンライン	8/13 ～ 8/20
3		国内合宿	9月オンライン体幹トレーニング（0903）	オンライン	9/3 ～ 9/17
4		国内合宿	9月Ski&Fit（0913）	神奈川県横浜市	9/13 ～ 9/19
5		国内合宿	10月Ski&Fit（1005）	神奈川県横浜市	10/5 ～ 10/5
6		国内合宿	10月オンライン体幹トレーニング（1015）	オンライン	10/15 ～ 10/15
7		国内合宿	6月Ski&Fit（0603）	神奈川県横浜市	6/3 ～ 6/26
8		国内合宿	7月Ski&Fit（0703）	神奈川県横浜市	7/3 ～ 7/25
1	次世代事業	国内合宿	【次世代育成】第2回JISSフィジカル合宿	ハイパフォーマンススポーツセンター（JISS）（東京都北区）	8/1 ～ 8/5
2		国内合宿	【次世代育成】9月フィジカルトレーニング合宿	パラアルペン強化拠点（長野県・菅平高原）	9/23 ～ 9/27
3		国内合宿	【次世代育成】第2回JISS体力測定＆MC	国立スポーツ科学センター（東京都北区）	10/7 ～ 10/9
4		チーム派遣	【次世代育成】第1回海外強化遠征	イタリア	10/26 ～ 11/13
5		チーム派遣	【次世代育成】海外強化遠征（クラス分け）	オーストリア	11/24 ～ 12/5
6		国内合宿	【次世代育成】12月国内雪上合宿①	パラアルペン強化拠点（菅平高原バインピークススキー場、菅平アリーナ）（長野県上田市）	12/14 ～ 12/20
7		国内合宿	【次世代育成】12月国内雪上合宿②	北海道	12/25 ～ 12/30
8		チーム派遣	【次世代育成】海外強化遠征（WC参戦）	イタリア・タルビジョ/ドイツ・フェルトベルク/イタリア・コルティナ/スロベニア・マリボル	1/8 ～ 2/13
9		国内合宿	【次世代育成】国内雪上合宿	パラアルペン強化拠点（菅平高原バインピークススキー場、菅平アリーナ）（長野県上田市）	2/21 ～ 3/24
その他事業		第2回クロストレーニング支援事業（座位/射撃）		ハイパフォーマンススポーツセンター（イースト）（東京都北区）	9/14 ～ 9/15
		4月国内大会派遣＆雪上合宿		野沢温泉スキー場、志賀高原横手山・渋峠スキー場（長野県）	4/14 ～ 4/26
		第1回 JISS体力測定合宿		ハイパフォーマンススポーツセンター（JISS）（東京都北区）	5/7 ～ 5/9
		6月フィジカルトレーニング合宿		パラアルペン強化拠点（菅平アリーナ）他、（長野県上田市）	6/9 ～ 6/13
		6月立位フィジカルトレーニング		国立スポーツ科学センター（東京都北区）	6/27 ～ 6/27
		7月立位フィジカルトレーニング		国立スポーツ科学センター（東京都北区）	7/2 ～ 7/25
		JPC強化スタッフセミナー2025		ハイパフォーマンススポーツセンター（JISS）（東京都北区）	7/18 ～ 7/18

2024年度事業報告書
(IDアルペンスキーチーム)

事業の成果	・コロナ渦から取り組んでいるオンライントレーニングを昨年度も7月から10月まで週2回のペースで計30回実施した結果、基礎的な筋力アップやトレーニングへの意識を定着させることができた。また、選手とコーチ間でのコミュニケーションが取れ情報提供や選手の状況把握に役だった。 ・体力測定では、2会場をオンライン中継にて実施したことは、チーム全体の事業として意識したとともに移動時間の短縮、経費削減が達成できた。また、外部委託のアスレチックトレーナーというコーチ以外の指示は適度な緊張を持って行われた。 ・トランクルームは、チーム所有の物品を集約して管理でき作業の効率化が図られた。 ・目的を明確にして2回の雪上合宿を実施した結果、Virtus世界選手権大会で金メダル3つなど（金3、銀1、入賞7）の成績を収めた。 ・公認大会の開催は、次年度の強化選手選考やVirtus世界選手権派遣選手選考の資料として有効に活用した。
事業に対する評価	・オンライントレーニングは、移動時間や経費削減策として高く評価される。ただし、トレーニングエリアが自宅の一室であることからオフトレーニングには欠かせない持久力の強化には繋がらない課題もある。また、実施期間が長いことから選手の都合で参加できないことも多く、参加者が半数にも及ばないこともあった。 ・シーズンはじめの雪上合宿では、日数的に技術の向上や定着を図るには不十分であるが基礎練習の観点からは価値のある合宿となった。また、スキー場が混み合いチームが必要とするゲートトレーニングが出来なかったが、第2回目の合宿では充実したゲートトレーニングが行われVirtus世界選手権に出場した選手全員がメダルや入賞を果たすことが出来た。 ・公認大会を開催する上で選手の技量差が出るコース選定が必要であるが、大会によっては上位選手には強化に繋がらないコースもあった。
選手強化体制整備に関する課題及びその取組方法	・新年度は、昨年度のVirtus世界選手権が会計年度を跨いで開催されたことから新年度予算で経費を支出したため、事業予算が例年になく厳しいものとなる。リフト料金や宿泊費の高騰もあり選手の自己負担増を検討せざるを得ない。 ・選手層の薄さから国内大会の順位が固定される傾向があり、特に上位選手は切磋琢磨する機会がないことから技術向上のモチベーション維持が難しい。普及活動などによる選手発掘とその強化が急がれる。 ・強化選手が札幌と東京・神奈川のみだったが、新たに福島と宮城も加わったことからコーチの配置も含め課題を整理するとともに自主トレーニングの充実など効果的なオフトレーニングの方法を検討する。

		事業の内容	事業名	実施場所	期間
1	選 手 強 化 活 動 事 業	国内合宿	第1回朝里強化合宿	北海道・小樽市	12/23　～　12/29
2		国内合宿	第3回全日本知的障害者スキー競技大会及び事前合宿(0123)	北海道・富良野市	1/23　～　1/26
3		国内合宿	2025ポールキャンプ・日本IDスキー選手権大会事前合宿及び朝里強化合宿(0225)	北海道・小樽市	2/25　～　2/28
4		チーム派遣	Virtus世界選手権(0328)	フランス	3/28　～　4/6
5		国内合宿	2025 全日本障害者アルペンスキー競技大会参戦(0413)	長野県野沢温泉	4/13　～　4/18
6		国内合宿	2025体力測定	北海道札幌市/千葉県柏市	7/20　～　7/20
1	体 事 制 業 整 備	NF強化会議	チーム会議	オンライン	10/22　～　10/22
2		その他	アンチドーピング研修会	オンライン	11/28　～　11/28
1	D X 促 進 支 援 事 業		8月オンライントレーニング	オンライン	8/4　～　8/28
2			9月オンライントレーニング	オンライン	9/1　～　9/29
3			10月オンライントレーニング	オンライン	10/2　～　10/20
4			スカイテックシミュレーター	神奈川県横浜市 北海道小樽市	12/1 11/24　・　11/27

2024年度事業報告書
(パラノルディックスキーチーム)

事業の成果	2026パラリンピックミラノ・コルティナ大会（以降：2026PWG）でのメダル獲得のために、選手個々の競技力向上を目標に、ベーシックフィジカル・スキー技術等、走力強化を重点に年間計画を立案し事業を実施した。また国際クラス分けを日本で実施した。 【国際競技大会】 * FIS（国際スキー連盟）とIBU（国際バイアスロン連合）に2つのIFが別々に大会運営した 1.世界選手権（WSC） * ②は初のFISオリパラ合同WSC （1）FIS-WSC ①イタリア：金×1、入賞×2 ②ノルウェー：銀×1、入賞×2 （2）IBU-WSC ①スロベニア：入賞なし 2.ワールドカップ（WC） * ②は2026PWGプレ大会 （1）FIS-WC ①フィンランド：入賞×2 ②イタリア：銀×1、銅×1、入賞×4 ③ノルウェー：入賞×3 （2）IBU-WC ①フィンランドWC：入賞なし ②イタリアWC：入賞なし 3.コンチネンタルカップ（COC） ・アジアカップ札幌大会：金×3、銀×5、銅×1、入賞×1 4.ワールドカップ総合 ・総合チャンピオン1位、及び3位獲得（1位3位ともに3シーズン連続） 【強化合宿】 ・国内合宿：夏季陸上及び冬季スキー合宿を概ね予定通り実施した。 ・海外合宿：初冬季雪上合宿をフィンランドで昨年に引き続き実施した。日本での少ない降雪対策として有効である。 【国際クラス分け：日本実施】 ・PI・VIの両クラスの国際クラス分けを日本で実施した。PI:9名、VI:12名の選手がクラス分けを受ける。 （日本から14名受検）
事業に対する評価	【海外派遣/海外大会参加・合宿実施】 * 略称表記：クロスカントリースキー→CC、バイアスロン→BT ・雪の降り始めが遅く、近年の雪不足が続いた日本での11月旭岳雪上合宿から、11月フィンランド雪上合宿に切り替えて3年目となるが、初冬の雪上練習の確保に確実性が増し、シーズン好結果にもつながっている。今後も初冬11月海外合宿を継続する。 ・国際大会が、今シーズンからFIUとIBUに分かれて運営されるようになった。IBUは一部（クラス分け・用具等）をFISルールと連動させて運営する（2026までを移行期）。世界選手権が初めて別々の国で実施されたが、参加国の移動や経費等の負担増等という課題が見えてきた。日本もFIS・IBU国際大会への参加方法及び2つのIF対応について様々な観点から早急に対策を立てる必要がある。 【日本国内での国際大会・国際クラス分け】 ・FIS公認COCアジアカップ札幌大会を開催し、日本でFISポイントを獲得できること、クラス分けができることを証明でき、見通しも持てた。特にクラス分けについては、世界でも実施が少ないVIクラス分けを札幌医療看護専門学校の施設をお借りして実施できたことが大きな成果と言える。医療の学校のためVI検査用具が複数配置されていることがスムーズなVIクラス分け会場の設置に繋がった。FISクラス分け委員会からも一定の評価を得た。今後、定期的な開催によりスキーだけでなく、他競技のVIクラス分けにも寄与できる可能性がある。 ・同時に育成選手12名がクラス分け国内で行うことができ、2030大会に向けての準備としても大きな成果となった。 【その他】 ・2026パラ大会以降を見据えた選手の発掘・育成も重要と考えて3年間かけて段階的に進めてきた。経費としては、競技力向上事業とは別にくじ助成（タレント発掘育成事業）を活用している。その成果もあり「育成チーム」「育成指定選手」が仕組みとして構築された。 2024事業終了までで、2名を次世代アスリートに昇格させ、現在の育成指定選手は21名となる。
選手強化体制整備に関する課題及びその取組方法	【選手強化（育成）を支える体制整備】 ・国内雪不足に対して、雪上事業実施場所の確保等について、海外雪上合宿を組む等、何らかの対応策が必要となっている。 ・スタッフの固定化/高齢化に対する新旧交代を、2026-28の2年間で段階的に進め、2030大会は若手新体制で臨む。 ・「発掘→育成」→強化の仕組みを構築するため、JSTARの活用、普及と強化の間に「育成チーム」を明確に位置付けること、地区トレの仕組み化等に3年間取り組んだことより、育成チームと育成プログラムが形になってきた。そのことにより強化トップチームまでの道筋が、NSアスリート育成パスウェイ（FTEM段階）として描けてきている。NSパスウェイを連盟HPでも対外的に発信していく必要がある。 ・国際IFのFISとIBUという2つのIFに対して、どのように連携または対応していくかが課題となって来ている。これまでノルディック競技としてCCとBTをNS1チームで対応してきたが、今後はそのことが困難になってくる。一番は国際大会が別々に開催されるようになれば、選手はどちらの競技大会を選ぶのか、スタッフを2分して派遣できるか、経費は2倍かかるだろう等々、そして何よりもパラCCとパラBTの競技力を高めるためには、どのような制度や新たな枠組みが必要か等を考え・判断する大きな岐路に立っている。現在はパラBT競技の今後を考えるプロジェクトチームを立ち上げ原案を作成し、関係各所へも相談しながら、2030に向けて方向性を出していく必要がある。

2024/08/01～2025/07/31

		事業の内容	事業名		期間
1	選手強化活動事業	国内合宿	8月美瑛陸上強化合宿(0802)	北海道・美瑛町	8/2 ～ 8/8
2		国内合宿	8月志賀高原陸上強化合宿(0802)	長野県・志賀高原	8/2 ～ 8/8
3		国内合宿	9月田山陸上強化合宿(0904)	岩手県・八幡平市	9/4 ～ 9/8
4		国内合宿	日本バイアスロン連盟連携会議(0918)	北海道・札幌市	9/18 ～ 9/19
5		国内合宿	9月ニセコ陸上強化合宿(0920)	北海道・虻田郡	9/20 ～ 9/26
6		国内合宿	9月東京陸上強化合宿(0920)	東京都・北区	9/20 ～ 9/26
7		国内合宿	9月湯の丸陸上強化合宿(0924)	長野県・東御市	9/24 ～ 9/30
8		国内合宿	コーチ会議(1014)※事業中止	東京都・港区	10/14 ～ 10/14
9		国内合宿	10月美瑛陸上強化合宿(1020)	北海道・美瑛町	10/20 ～ 10/25
10		国内合宿	10月野辺地陸上強化合宿(1021)	青森県・野辺地町	10/21 ～ 10/27
11		国内合宿	10月ニセコ陸上強化合宿(1021)	北海道・虻田郡	10/21 ～ 10/27
12		国内合宿	JISSトレーニング(1028)	東京都・北区	10/28 ～ 11/13
13		国内合宿	秋季JISSFC強化合宿(1101)	東京都・北区	10/29 ～ 11/14
14		国内合宿	秋季札幌FC強化合宿(1103)	北海道・札幌市	11/3 ～ 11/4
15		大会派遣	フィンランドW杯大会参戦遠征 (1117)	フィンランド・Vuokatti	11/17 ～ 12/23
16		国内合宿	11月美瑛雪上強化合宿(1122)	北海道・美瑛町	11/22 ～ 11/27
17		国内合宿	12月美瑛雪上強化合宿	北海道・美瑛町	12/15 ～ 12/19
18		国内合宿	JISSトレーニング(1224)	東京都・北区	12/24 ～ 1/15
19		国内合宿	1月旭川：札幌雪上強化合宿(0102)	北海道・旭川市、札幌市	1/2 ～ 1/9
20		大会派遣	イタリアW杯・世界選手権大会参戦遠征 (0117)	イタリア・Toblach、Val de Fiemme	1/17 ～ 2/16
21		国内合宿	1月白馬雪上強化合宿(0118)	長野県・白馬村	1/18 ～ 1/22
22		国内合宿	JISSトレーニング(0217)	東京都・北区	2/17 ～ 2/17
23		大会派遣	ノルウェーワールドカップ・世界選手権及びイタリア事後合宿 (0222)	ノルウェー・Steinkjer、Trondheim イタリア・Val de Fiemme	2/22 ～ 3/11
24		国内合宿	3月旭川雪上強化合宿	北海道・旭川市	3/7 ～ 3/13
25		国内合宿	JISSトレーニング(0411)	東京都・北区	4/11 ～ 4/14
26		国内合宿	5月田山陸上強化合宿(0518)	岩手県・八幡平市	5/18 ～ 5/24
27		国内合宿	春季JISSFC強化合宿(0530)	東京都・北区	5/29 ～ 5/30
28		国内合宿	春季札幌FC合宿(0601)	北海道・札幌市、江別市	5/31 ～ 6/2
29		国内合宿	6月ニセコ・美瑛陸上強化合宿(0621)	北海道・ニセコ町、美瑛町	6/21 ～ 6/27
30		国内合宿	6月青森陸上強化合宿(0623)	青森県・弘前市、野辺地町	6/23 ～ 6/29
31		国内合宿	バイアスロンチーム7月田山陸上強化合宿(0721)	岩手県・八幡平市	7/21 ～ 7/26

1	体制整備事業	その他	メディカルチェック(0801)	各自	8/1 ～ 10/31
2		その他	FISpara会議参加 (0904)	オンライン	9/8 ～ 9/22
3		JPC会議出席	JPC Gathering(0228)	東京都・世田谷区	9/14 ～ 9/15
4		その他	クラシファイアー養成講習会(0916)	リモート会議	4/1 ～ 5/31
5		その他	コーチ派遣Mtg(1009)	東京都・北区	5/23 ～ 5/24
6		その他	強化スタッフMtg(0313)	東京都・北区	5/23 ～ 5/24
7		JPC会議出席	ミラノ大会時におけるサポート体制に関するMTG(0124)	東京都・北区	7/26 ～ 7/26
8		その他	FISpara会議参加 (0401)	オンライン	4/1 ～ 5/31
9		その他	NTC拠点環境整備Mt g (0515)	岩手県・八幡平市	5/15 ～ 5/16
10		その他	協働コンサル及び強化本部会議(0521)	東京都・北区	5/21 ～ 5/22
11		その他	事前合宿候補地視察(0528)	イタリア・サンタカタリーナ	5/28 ～ 6/2
12		その他	旭川市・日本バイアスロン連盟連携会議(0528)	北海道・旭川市、札幌市	5/28 ～ 5/30
13		その他	FISpara会議参加 (0617)	オンライン	6/17 ～ 6/29
14		その他	ミラノ冬季パラNF対策会議(0624)	東京都・中央区	6/24 ～ 6/24
15		その他	HPMヒアリング(0709)	長野県・上田市	7/9 ～ 7/9

1	強化活動のDX化促進支援事業	国内合宿	リモートトレーニング(0821)	オンライン	8/21 ～ 8/22
2		国内合宿	リモートトレーニング(0918)	オンライン	9/18 ～ 9/19
3		国内合宿	リモートトレーニング(1016)	オンライン	10/16 ～ 10/17
4		国内合宿	リモートフィジカル管理及びトレーニング(0417)	オンライン	4/17 ～ 6/30
5		国内合宿	リモートフィジカル管理及びトレーニング(0701)	オンライン	7/1 ～ 7/29

1	次世代アスリート育成強化事業	国内合宿	8月美瑛陸上強化合宿(0802)	北海道・上川郡	8/2 ～ 8/8
2		国内合宿	9月田山陸上強化合宿(0911)	岩手県・八幡平市	9/4 ～ 9/8
3		国内合宿	9月ニセコ陸上強化合宿(0920)	北海道・ニセコ町	9/20 ～ 9/26
4		国内合宿	10月田山陸上強化合宿(1006)	岩手県・八幡平市	10/6 ～ 10/11
5		国内合宿	10月ニセコ陸上強化合宿(1021)	北海道・虻田郡	10/21 ～ 10/27
7		国内合宿	11月美瑛陸上強化合宿(1122)	北海道・美瑛町	11/22 ～ 11/27
6		大会派遣	フィンランドW杯大会参戦遠征 (1201)	フィンランド・Vuokatti	12/1 ～ 12/23
8		国内合宿	12月美瑛陸上強化合宿(1202)	北海道・美瑛町	12/2 ～ 12/8
9		国内合宿	1月旭川：札幌雪上強化合宿(0102)	北海道・旭川市、札幌市	1/2 ～ 1/9
10		国内合宿	1月白馬雪上強化合宿(0118)	長野県・白馬村	1/18 ～ 1/22
11		大会派遣	1月イタリアW杯大会参戦遠征	イタリア・Val de Fiemme	1/27 ～ 2/4
12		国内合宿	2月小樽雪上強化合宿(0216)	北海道・小樽市	2/16 ～ 2/19
14		大会派遣	2月ノルウェー大会参戦遠征	ノルウェー・Steinkjer、Trondheim	2/22 ～ 3/4
13		国内合宿	3月旭川雪上強化合宿(0306)	北海道・旭川市	3/6 ～ 3/12
15		国内合宿	5月田山陸上強化合宿(0519)	岩手県・八幡平市	5/19 ～ 5/24
16		国内合宿	6月北海道陸上強化合宿(0621)	北海道・ニセコ町、美瑛町	6/21 ～ 6/27
17		国内合宿	6月青森陸上強化合宿(0623)	青森県・弘前市、野辺地町	6/23 ～ 6/29

その他事業		強化拠点整備	岩手県・八幡平市	年間
		チーム倉庫整備	北海道・札幌市	年間

* 競技力向上事業以外の事業：育成チーム事業（くじ助成「タレント発掘育成」、JSTAR「8期生検証プログラム」等）

1	育成チーム関係事業	地区トレ	5地区で地区クラブを立ち上げ週末に実施	北海道・東北・東京・愛知・関西	年間（6-2月）
2		合宿	集合合宿（陸上2回、雪上3回）	愛知・白馬・旭川	5/8/10/12/1/2月
2		合宿	選抜合宿（陸上2回、雪上1回）	山梨・東京・フィンランド	5/8/10/12/1/2月

2024年度 事業報告書
(IDノルディックスキーツーム)

事業の成果	1 大会 ○第27回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会（個人2レース） ・クラシカル2.5km 男子1位村越、2位山田。 女子1位大場、2位中澤。 ・フリー4.5km 男子1位山田、2位村越。 女子1位志村、2位大場。 ○第3回全日本知的障害者クロスカントリースキー競技大会（個人2レース） ・クラシカル 男子10km 1位村越、2位山田。 女子5km 1位志村、2位戸島。 ・フリースプリント1.5km 男子1位山田、2位村越。 女子1位志村、2位大場。 ○2025VIRTUS世界選手権大会（個人3レース、リレー男子・女子・ミックス） ・クラシカル 男子10km：8位山田、9位村越、DNF西村。 女子5km：6位志村、7位大場、8位中澤。 ・クラシカルスプリント1.3km 男子：6位山田、10位村越、13位西村。 女子：6位志村、7位大場、8位中澤。 ・フリー 男子15km：8位山田、9位村越、12位西村。 女子10km：5位志村、6位中澤、7位大場。 ・リレー 男子（村越、山田）4位 女子（志村、大場）3位 ミックス（西村、中澤）3位 ・世界選手権では、個人種目でメダルは獲得できなかったが、全種目で男女ともに入賞できた。 ・第27回全日本障害者クロカン大会では、種目により優勝者の顔ぶれが昨シーズンと変わり、個々に力をつけてきたことを実感した。各事業やオンライントレーニングの成果を出すことができた。 2 事業 ・事業費を工夫しながら今年は、シーズン初めに全体合宿を組むことができた。 ・世界選手権への派遣数をふまえ、それに伴う費用を確保し大会に参戦することができた。 ・国内2大会は予算を組んで参加することができた。 3 オンライン・リモートトレーニングの工夫 ・月に2～4回程度オンライントレーニングを実施し、様々な動きや日頃の選手の取組状況の確認、選手およびスタッフ間での情報交換をすることができた。 ・アンチドーピング講習を選手及びスタッフを対象に実施、最新の情報を知ることができた。
事業に対する評価	・地区別、全体での事業（大会参戦）、日々のトレーニング、オンライントレーニングを実施することにより、選手同士およびスタッフで連携することができた。また、互いの技術向上に努めることができた。 ・ZOOMの活用で、選手たちの練習状況や体調等、個々の現状確認の場とするなど、連携を図ることができた。 ・スタッフミーティングを計画的に実施し、必要に応じて選手の状況やチームの事業等について話し合いをもち、スタッフ間で共有することができた。オンライントレーニング後についても、都度必要に応じてミーティングを入れることができた。 ・オンライン（Zoom活用）を活用し、連盟主催の研修（インテグリティ、ダイバーシティ等）に参加できた。 ・全体（雪上合宿、大会参戦&事前トレ）は計3回14日間。第27回全日本：選手9、スタッフ5参加。第3回全日本知的：選手7、スタッフ5参加。VIRTUS世界選手権：選手6、スタッフ5（通訳含む） ・オンライントレーニング：月2～4回実施。 ・日帰りトレーニング（各地区）：月に2～10回実施。
選手強化体制整備に関する課題及びその取組方法	【課題】 ・一部のスタッフにチーム運営の役割が多くなっている。スタッフ自身、今一度自分に何ができるか考えることが必要である。 ・メダル争いに絡めなかった2025年世界選手権の結果をしっかりと受け止め、次回大会でメダルを獲得するため、日頃のトレーニング方法等、強化について今以上に検討する必要がある。 【取組方法】 ・2026年世界選手権でのメダル獲得のため、チーム全体でトレーニング方法について密にし、それをもとに、近くにいる選手とコーチで連携する。自主練習も運動量の目安をしっかりと伝え、次回の強化トレーニングに活かせるようにする（オンライントレなどで、状況の共有を引き続きおこなう）。 ・チーム運営や事業実施について、定期的に確認するとともに(オントレ後、短時間活用するなど)、事業費等をふまえて、計画から報告まで共有しながら進める。

		事業の内容	事業名	実施場所	期間
1	選手強化活動事業	国内合宿	北海道日帰りトレーニング③ (0804)	北海道旭川市	8/4 ~ 9/29
2		国内合宿	本州日帰りトレーニング③ (0811)	石川県金沢市	8/11 ~ 9/28
3		国内合宿	9月本州地区合宿 (0921)	新潟県妙高市	9/21 ~ 9/23
4		国内合宿	北海道日帰りトレーニング④ (1006)	北海道旭川市	10/6 ~ 11/24
5		国内合宿	本州日帰りトレーニング④(1005)	石川県白山市美川～河原山	10/5 ~ 11/23
6		国内合宿	11月全体合宿&アンチドーピング講習(1129)	北海道上川郡東川町旭岳	11/29 ~ 12/3
7		国内合宿	北海道日帰りトレーニング⑤(1207)	北海道旭川市	12/7 ~ 2/2
8		国内合宿	本州日帰りトレーニング⑤(1221)	石川県白山市白峰	12/21 ~ 12/30
9		国内合宿	12月本州地区合宿(1214)	新潟県古志郡山古志	12/14 ~ 12/15
10		国内合宿	第27回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会参戦合宿(0102)	北海道旭川市富沢	1/2 ~ 1/5
11		国内合宿	第3回全日本知的障害者スキー競技大会参戦合宿(0123)	北海道富良野市	1/23 ~ 1/26
12		国内合宿	北海道日帰りトレーニング⑥(0208)	北海道旭川市	2/8 ~ 3/5
13		国内合宿	VIRTUS世界選手権大会派遣(0307)	フランス	3/7 ~ 3/15
14		国内合宿	北海道日帰りトレーニング①(0402)	北海道上川郡東川町	4/2 ~ 5/28
15		国内合宿	本州日帰りトレーニング①(0406)	石川県白山市他	4/6 ~ 5/31
16		国内合宿	北海道日帰りトレーニング②(0601)	北海道旭川市	6/1 ~ 7/17
17		国内合宿	本州日帰りトレーニング②(0607)	石川県内灘町他	6/7 ~ 7/6
18		国内合宿	7月全体合宿(0718)	北海道士別市	7/18 ~ 7/22

1	DX促進支援事業		8月オンライントレーニング	オンライン	8/5 ~ 8/25
2			9月オンライントレーニング	オンライン	9/4 ~ 9/24
3			10月オンライントレーニング	オンライン	10/4 ~ 10/27
4			11月オンライントレーニング	オンライン	11/5 ~ 11/24
5			12月オンライントレーニング	オンライン	12/9 ~ 12/23
6			1月オンライントレーニング	オンライン	1/8 ~ 1/26
7			2月オンライントレーニング	オンライン	2/5 ~ 2/23
8			3月オンライントレーニング	オンライン	3/4 ~ 3/4
9			4月オンライントレーニング	オンライン	4/1 ~ 4/21
10			5月オンライントレーニング	オンライン	5/6 ~ 5/26
11			6月オンライントレーニング	オンライン	6/6 ~ 6/26
12			7月オンライントレーニング	オンライン	7/2 ~ 7/28

1	体制整備事業	強化会議開催	リモートチーム会議②(1111)	オンライン	11/11 ~ 11/11
2		JPC会議出席	加盟競技団体会議	オンライン	3/14 ~ 3/14
3		強化会議開催	リモートチーム会議①(0508)	オンライン	5/8 ~ 5/8

2024年度事業報告書
(パラスノーボードチーム)

事業の成果	■パラスノーボードチーム 国際大会成績														
	日時	大会カテゴリー	開催国	開催地	種目	小栗大地	市川貴仁	大岩根正隆	小須田潤太	岡本圭司	坂下恵里	後田風吹	洲崎晃宏	橋口みどり	
	11月28日	ワールドカップ	オランダ	ランドグラーフ	バンクドスラローム	3	6	9	5	8	9				
	11月28日	ヨーロッパカップ	オランダ	ランドグラーフ	バンクドスラローム							DSQ	15	5	
	11月29日	ワールドカップ	オランダ	ランドグラーフ	バンクドスラローム	5	7	6	3	8	7				
	11月29日	ヨーロッパカップ	オランダ	ランドグラーフ	バンクドスラローム							3	15	4	
	1月18日	ワールドカップ	フィンランド	ピュハ	スノーボードクロス	中止	－	－	－	－	－	－	－	－	
	1月18日	ヨーロッパカップ	フィンランド	ピュハ	スノーボードクロス	中止	－	－	－	－	－	－	－	－	
	1月19日	ワールドカップ	フィンランド	ピュハ	スノーボードクロス		1	5	15	4	11	4	14		
	1月19日	ヨーロッパカップ	フィンランド	ピュハ	スノーボードクロス								7		
	1月22日	ワールドカップ	スイス	レンク	スノーボードクロス		6	8	10	4	10	16	13		
	1月22日	ヨーロッパカップ	スイス	レンク	スノーボードクロス								6		
	1月24日	ワールドカップ	スイス	レンク	スノーボードクロス		6	10	16	10	7	11	15		
	1月24日	ヨーロッパカップ	スイス	レンク	スノーボードクロス								5		
	2月19日	ワールドカップ	ドイツ	グラスゲレーン	スノーボードクロス	中止	－	－	－	－	－	－	－	－	
	2月19日	ヨーロッパカップ	ドイツ	グラスゲレーン	スノーボードクロス	中止	－	－	－	－	－	－	－	－	
	2月20日	ワールドカップ	ドイツ	グラスゲレーン	スノーボードクロス	中止	－	－	－	－	－	－	－	－	
	2月20日	ヨーロッパカップ	ドイツ	グラスゲレーン	スノーボードクロス	中止	－	－	－	－	－	－	－	－	
	2月1日	ワールドカップ	オーストリア	キュータイ	バンクドスラローム		3	3	12	4	11	9	9		
	2月2日	ワールドカップ	オーストリア	キュータイ	バンクドスラローム		4	6	14	8	8	7	10		
	2月25日	ワールドカップ	アメリカ	スティームポート	スノーボードクロス			5	4	3			10		
	2月26日	ワールドカップ	アメリカ	スティームポート	スノーボードクロス			6	4	5			8		
	2月27日	ノースアメリカカップ	アメリカ	スティームポート	スノーボードクロス			4	4	4			5		
	3月6日	世界選手権	カナダ	ビッグホワイт	バンクドスラローム		5	7	19	1	4	7	15		
	3月9日	世界選手権	カナダ	ビッグホワイт	スノーボードクロス		3	13	15	5	14	13	11		
	3月10日	世界選手権	カナダ	ビッグホワイт	スノーボードクロステーム			7				7			
	事業に対する評価	表のとおり、世界選手権およびワールドカップにおいて複数の表彰台を獲得。元木コーチを中心とした滑走技術の向上が顕著に現れたことがBSL種目の成果で示されている。今季もワールドカップはホストの経済的事情により中止・変更が多発する中での開催となった。次世代強化育成事業については、限りある予算枠の活用となったが、ワールドカップへの派遣を行い、２名の選手がワールドカップおよび世界選手権で入賞という結果を出せ、次世代育成事業の意味を示せる結果を実現実現できた。													
		2023年3月にスペイン・ラモリーナの世界選手権でメダル獲得ゼロという結果により、当初予算の厳しい評価とハイパフォーマンスサポートセンターからの直接支援により予算執行を視野に入れた事業規模判断は厳しいものとなり、昨季までワールドカップの成績は良かったものの、2022年の北京パラ、2023年のスペインの世界選手権の表彰台が評価対象になったことから、ワールドカップの成績よりも世界選手権にフォーカスを置く方針で進めた。有り難いことに、当連盟強化本部によるハイパフォーマンスサポート事業の予算共有、競技力向上助成の過不足調査にて、最終的に有効な強化事業実施への危機を乗り越えることができた。成績は当チーム初めての小須田選手が世界チャンピオンとなり、じっくりと取り組んで頂いた元木コーチの功績は大きい。小栗選手も自身初の世界選手権3位という実績は大きく評価できる。きめの細かい国内合宿の頻度と、それに参加した密度が選手個々のスキルアップにつながったと評価している。スペインの世界選手権で大怪我を負った岡本選手が復帰した最初のシーズンではあったが、復帰後の成績として考えると、最高4位の成績は評価に値する。DXに関しては、言い訳になってしまい誤解を与えるかもしれませんが、当初の年間事業費を憂慮し、執行を躊躇したことで年度末まで執行を遅らせてしまったことが原因である。この点は大いに反省し、25/26シーズンは適切な判断と処理を行いたい。													
選手強化体制整備に関する課題及びその取組方法	スタッフが明らかに足りないことは明確。特にテクニカルなコーチングスタッフと後方支援(広報/SNS機能拡充)のためのスタッフである。 各NFが同じ境遇であることは言うまでもないのだろうが、スタッフを集めるのは容易なことではなく、勤務先の理解や休業に伴う経済的・時間的な損失に対する補填との釣り合いも無視できない。NFの人的資源の獲得手段の現状は、「希望者から選考する」のではなく「興味のある方に声掛けをしてお願いする」である。 事業予算削減の影響もあり、会議はオンライン実施を中心とした。引き続きオンラインにおいても十分な意思疎通ができるよう、ツールなどの工夫が必要である。オンライン以外の実施に際して、実施を検討したいが費用全体を圧迫するので判断に苦慮する。現時点ではオンライン開催が一番経済的だと感じるが、それだけでは情報共有の限界がある。 発掘事業として福井と長野の発掘のための視察を実施したが、新たなタレントはJ-STARでの発掘のみである。事業実施内容も検討し、より効果的なタレントの発掘に注力したい。														

		事業の内容	事業名	実施場所	期間		
1	選手強化活動事業	海外合宿	海外合宿ニュージーランド(0816)	ニュージーランド	8/16	～	9/3
2		国内合宿	国内合宿大阪②(1017)	大阪府	10/17	～	10/19
3		国内合宿	国内合宿JISS秋季フィットネスフェック(1020)	東京都	10/20	～	10/21
4		国内合宿	国内合宿山梨10月(1012)	山梨県	10/12	～	10/16
5		国内合宿	国内巡回指導合宿山梨・長野（1107）	山梨県	11/7	～	11/20
6		チーム派遣	海外遠征オランダ(1122)	オランダ・ランドグラーフ	11/22	～	12/2
7		国内合宿	国内合宿札幌（1216）	北海道	12/16	～	12/19
8		チーム派遣	海外遠征フィンランド・スイス・オーストリア(0106)	フィンランド/スイス/オーストリア	1/6	～	2/4
9		国内合宿	国内合宿長野白馬(0210)	長野県	2/10	～	2/13
10		チーム派遣	北米遠征_USA/カナダ(0221)	アメリカ・カナダ	2/21	～	3/12
11		国内合宿	国内合宿長野(0324)	長野県	3/24	～	3/28
12		国内合宿	国内合宿長野(0401)	長野県	4/1	～	4/25
13		国内合宿	国内合宿長野・新潟・山形(0428)	長野県・新潟県・山形県	4/28	～	5/30
14		海外合宿	海外合宿ポートランド(0609)	オレゴン州・ポートランド	6/9	～	6/20
15		国内合宿	国内合宿山梨(0702)	山梨県/各所	7/2	～	7/17

1	体制整備事業	その他	メディカルチェック(0801)	各居住地	8/1	～	3/31
2		その他	長野県合宿地視察(0913)	長野県	9/13	～	9/13
3		NF強化会議	スタッフ全体会議(0923)	オンライン	9/23	～	9/23
4		その他	アンチドーピング研修会（1202）	オンライン	12/2	～	12/2
5		JPC等会議出席	NFチームドクター会議(1220)	オンライン	12/20	～	12/20
6		選手発掘	選手発掘事業③福井(0214)	福井県	2/14	～	2/15
7		その他	選手発掘事業②長野(0314)	長野県	3/14	～	3/18

■次世代アスリート育成強化事業

1		チーム派遣	海外遠征フィンランド・スイス・オーストリア(0106)	フィンランド/スイス/オーストリア	1/6	～	2/4
---	--	-------	-----------------------------	-------------------	-----	---	-----

■DX促進支援事業

1			世界選手権カナダ動作確認(0303)	カナダ	3/3	～	3/12
---	--	--	--------------------	-----	-----	---	------

2024年度 事業報告

総務・財務委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加者
理事会	リモート	6回開催	理事、監事、評議員代表、管理本部長
評議員会	リモート	1回開催	評議員3名、理事
運営会議	リモート	5回開催	会長、専門委員会本部長、強化3委員長
内閣府へ事業報告・事業計画の提出		それぞれ1回	事務局員と税理士法人、管理本部長

法務・倫理委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加人数
法務倫理委員会会議	リモート	2024年10月	委員長・鈴木委員・大日方委員
個別の法務相談		通年	

ダイバーシティ委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加人数
JPS関係者向けダイバーシティ研修会	リモート開催	2024/12/12	連盟役職員、強化指定選手、スタッフ等 168名

マーケティング委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	備考
2025/2026用ウェア、パラリンピック用ウェアの制作		2025/2~7月	
個人スポンサー、所属企業向け権益ガイドライン作成		2025/1月	
国内大会スポンサー・リクルーティング		2024/10月~3月	3大会、22社、合計2,345万円(税抜) 札幌市補助金：1,000万円 スポンサー等：90名、選手・スタッフ：45名、 連盟役員等：15名 22社全社契約更新 新規追加スポンサー・サポーター：5社交渉中
2024/2025シーズン報告会&感謝のタベ	日本財団ビル	2025/6/2	
連盟スポンサー・サポーター契約更新		2025/6~7月	
JPSニュースレター発信		通年	全スポンサー、所属企業宛に今期6回発信
SNS情報発信		通年	Insta/FB 閲覧回数：60.4万回、リーチ数12.7万回 (対前年約5倍)

広報委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	備考
連盟ホームページ改修作業		2025/7月	スケジュール、テキストページ、YouTubeリンク、FAQ、選手紹介等々
ミラノ・コルチナパラリンピック取材管理 ガイドライン作成		2025/4月	
2024/2025シーズン活動報告書作成		2025/6月	
各種取材対応		通年	問い合わせ件数70件 掲載件数20件
国内大会取材対応	*ノルディックアジアカップ *全日本アルペン競技大会	*札幌市 *長野県野沢温泉村	メディア掲載数：36
カメラマン派遣	世界選手権 アルペンスキー ノルディックスキー スノーボード 国内大会(4大会)		世界選手権 AS:薬師氏、NS:吉村氏、SB:薬師氏 旭川クロカン大会：吉村氏 アジアカップ札幌大会：吉村氏 ID合同大会：八木氏 全日本アルペン競技大会：薬師氏・堀切氏

医科学情報委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加人数
医科学情報委員会	メール稟議	6/24~7/6	12名
クラス分けワーキンググループ会議	オンライン	4回	3~8名

アンチ・ドーピング委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加対象者
アルペン強化指定 (A.B)	NTC EAST +オンライン	2024/10/9	選手・スタッフ
アルペン (育成)	長野県菅平	2024/9/28	育成選手・スタッフ
IDアルペン強化指定 (A.B)	オンライン	2024/11/28	選手・スタッフ
ノルディック (A.B)	ビデオ講習会	2025/1/2	選手・育成選手・スタッフ
IDノルディック強化指定	オンライン	2024/11/30	選手・スタッフ
スノーボード強化指定 (A.B)	オンライン	2024/12/2	選手・スタッフ
スノーボード (次世代育成)	オンライン	2024/12/2	育成選手・スタッフ
2024アンチ・ドーピング カンファレンス	OLYMPIC SQUARE / 岸清一 メモリアルルーム	2024/12/18	AD委員委員長
競技団体アンチ・ドーピング担当者連絡会議	NTC(West) 研修室 /オンライン	2025/2/1	強化委員、AD委員

強化本部

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加人数・備考
強化本部委員長定例会議	オンライン	隔週 2 時間 x24 回	7 名
ミラノ・コルティナ大会選手選考規定案作成	オンライン	2025年5-6月	6名
ミラノ・コルティナ大会選手選考（第 1 次）	オンライン	2025年7/1	6名
強化本部共感戦略プラン/レビューシートmtg.	オンライン	2025年4～5月 × 3 チーム	5 名 × 3
FIS Para Ski & Snowboard Meeting	チューリッヒ	2024年9/23～9/29	3名
FIS Para Ski & Snowboard Meeting	ポルトガル	2025年5/4～10	3 名
VIRTUS Meeting	リモート スポーツディレクター会議 パラリンピック復帰活動会議		2名
SAJ フッ素ワックス検査員講習会	名寄、阿寒湖	2024年12/20-23	1名
FIS Rule&Regulations WG	リモート ルールワーキンググループMTG	2024年9月 2025年4月	各 1 0 名
NS 8 期生JSTAR基礎測定会・検証プログラム	①基礎測定：全国9会場 ②検証プロ 陸上：大阪・大分・東京 雪上：旭川・白馬	①基礎測定:8-12月 ②検証プロ ・陸上:10月-居住地 ・雪上:1-2月	①参加選手多数に対応→4名を検証プロに推薦 スタッフはJSTAR担当を中心に全8名で対応 ②推薦選手4名・スタッフ全10名で対応
NS育成プログラム （くじ助成:タレント発掘・一貫指導育成）	①NSpara地区クラブ （札幌・旭川・東北・東京・愛知・松本） ②集合合宿 （安代・志賀・深川・札幌・旭川・白馬）	①各地区2回/月 ・全国総計40回程 （R6.8月-R7.7月） ②合計8回/年 ・陸上3回（10月-7月） ・雪上5回（12月-2月）	①②下記の選手スタッフが事業参加/指導 ・選手18名（指定A:3名/B:3名/C:4名/Jr:8名） ・スタッフ20名（NF:9名、地区クラブ:11名）
SB 8 期生JSTAR基礎測定会・検証プログラム	神奈川県・横浜市 北海道：札幌市	2024年11/3 2024年12/13-15	① 11月参加者 2 名/スタッフ4名で対応 ② 12月参加者 2 名/スタッフ3名で対応 2名を育成指定選手として推薦
AS 8 期生JSTAR基礎測定会・検証プログラム	①基礎測定：全国9会場 ②検証プロ 陸上：菅平 雪上：菅平、旭川	①基礎測定:8-12月 ②検証プロ ・陸上:11月 ・雪上:12-3月	①参加選手多数に対応→1名を検証プロに推薦 スタッフはJSTAR担当を中心に全6名で対応 ②推薦選手1名・スタッフ全6名で対応
AS育成プログラム（くじ助成）	①地域トレーニング （東京・松本・オンライン、 チュンナップ講習等） ②集合合宿（菅平、旭川、よませ）	①各地区1～2回/月（オンライン含） ・総計6回（8-11月） ②合計15回/年 ・陸上2回（8-11月） ・雪上13回（12-3月）	①②下記の選手スタッフが事業参加/指導 ・選手4名（J-STAR8期生は途中より育成選手となったものも含） ・スタッフ7名（NF:5名、ネットワーク事業:2名）
FIS規則/ ミラノ・コルティナ出場資格翻訳	3 競技	ルール改定部分他	

競技大会本部

事業名	開催地・会場名	日程	参加人数
COOP 2025 FIS バラノルディックスキー アジアカップ 札幌大会	札幌市 白旗山競技場	2025/1/8～9	2025/1/6～7でクラス分けを実施。 参加国数：5 カ国
第 3 回全日本知的障害者スキー競技大会	富良野	2025/1/25～26	アルペンスキー：1 6 名 ノルディックスキー：1 3 名
トヨタ2025全日本障害者アルペンスキー競技大会 ～FIS Para Alpine Skiing公認COCレース～	長野県 野沢温泉スキー場	2025/4/14～4/18	参加国数：3 カ国 参加者総数：2 5 名 パラ選手：1 6 名（内育成 3 名、海外選手 6 名） ID選手: 9 名（内育成 1 名）

選手委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加人数
PAJ NPAS助成金のアナウンス	選手会グループ内（LINE）	2024/9/22	25名
ユニフォーム提供に関するガイドラインについての情報共有	選手会グループ内（LINE）	2024/10/11	25名
JPCアスリート委員会主催研修会の情報共有	選手会グループ内（LINE）	2024/11/6	25名
アスリートキャリアカンファレンスに関する情報共有	選手会グループ内（LINE）	2025/1/14	25名
JPCギャザリングに関する情報共有	選手会グループ内（LINE）	2025/3/6	25名
JPCアスリートフォーラムの案内	選手会グループ内（LINE）	2025/7/12	25名
IPCアスリート評議員への選手立候補承認依頼、選手委員長交代について	2024年度第5回運営会議	2025/7/14	
選手会長交代に伴う新委員の選出（スノボ小須田選手）	オンライン	2025/7/18	

用具技術開発委員会

事業・会議名	開催地・会場名	日程	参加人数
会議体を開催せず委員長をハブとしたメールでのコミュニケーションを行っていたので会議の開催は不要だった。 事業予算がなかったので事業は実施していない。			

1. 会議開催

NO	事業名	会議日時	会場	参加人数
1	第1回普及委員会（VI-WG共催）	2024年8月	オンライン	17
2	第2回普及委員会（VI-WG共催）	2024年10月	オンライン	17
3	第3回普及委員会（VI-WG共催）	2024年6月	オンライン	18
4	第4回普及委員会（VI-WG共催）	2024年7月	オンライン	11

2. 事業開催

1）大会事業

NO	事業名	開催日	会場	費用面
1	第11回全国障がい者スノーボード選手権大会&サポーターズカップ	2025年2月1-2日	長野県：白馬乗鞍スキー場	JSC基金助成
2	2025日本IDアルペンスキー選手権大会	2025年2月27-28日	北海道：朝里川温泉スキー場	
3	2025パラアルペンスキーチャレンジカップ	2025年2月1-2日	長野県：よませ温泉スキー場	JSCくじ助成

2）講習会事業

NO	事業名	開催日	会場	費用面
1	2025日本IDアルペンスキー普及講習会	2025年2月1-2日	長野県：エイブル白馬五竜	JSCくじ助成
2	2025障がい者クロスカントリースキー普及講習会 (2025パラフェスKAZUNO)	2025/2/23	秋田県：花輪スキー場（鹿角）	
3	パラアルペンスキー教室2025	2025年2月15-16日	新潟県：ニュー・グリーンピア津南	
4	【普及啓発】アルペンポール練習会&体験会 障害者アルペンスキーボール練習会&体験会 ※バラスノースポーツ体験会（アルペンスキー）	①2025年1月18日 ②2025年3月20日	①兵庫県 峰山高原 ②新潟県会場 ガーラ湯沢	バラサボ助成
5	【普及啓発】（バラスノースポーツ） バラスノースポーツ体験会（スノーボード）	①2024/12/20-22 ②2025/1/25-26	①新潟県：かぐらスキー場 ②兵庫県：ハチ高原スキー場	
6	【普及・啓発】（パラノルディック） パラノルディック体験会	①2025年2月2日 ②2025年3月8日～9日 ③2025年4月20日	①長野県：黒姫 ②北海道：旭川 北彩都 ③愛知県：モリコロパーク	
7	バラスキー・スノーボード体験教室事業	①2025年1月18日 ②2025年2月8日	①宮城県：スプリングバレースキー場 ②長野県：飯綱リゾートスキー場	JPSA 地域における バラスポーツ の振興事業
8	地域スキークラブ活動支援事業	2024年8月～2024年2月	北海道：クラブチーム	連盟事業
9	IDアルペンスキーボールキャンプ	2025年2月26日	北海道：朝里川温泉スキー場	
10	北海道障がい者スキー普及講習会	2025年2月8-9日	北海道：サッポロティネススキー場	
11	2024 知的障がい者クロスカントリースキー体験会	中止	長野：木島平	

3）普及振興事業

NO	事業名	開催日	会場	費用面
1	VRバラスキー体験事業 ①ダイバーシティ・パーク2024in新宿 ②板橋区×東京ヴェルディユニバーサルスポーツ体験会 ③かなりはフェス2024 ④あいちバラスポパーク ⑤スペシャルライフコートフェスティバル ⑥第7回バラスポーツ看護学会（滋賀）	①2024年10月5-6日 ②2024年10月13日 ③2024年12月8日 ④2025年2月22日 ⑤2025年4月29日 ⑥2025年6月22日	①東京都：新宿中央公園 ②東京都：上板橋体育館 ③神奈川県：神奈川県総合リハビリテーションセンター ④愛知県：ドルフィンアリーナ ⑤東京都：足立区総合スポーツセンター ⑥滋賀県：滋賀県立障害者福祉センター	連盟 主催団体 自治体
2	バラスノースポーツ普及・発掘協力事業 ①東京都バラスポーツ次世代ホープ発掘事業 ②バラスポーツ体験会&測定会in札幌国際大学 ③大阪市障害者スキー教室	①-①2024年9月28日 ①-②2024年11月30日 ②2025年6月29日 ③2025年1月30日～2月2日	①-①東京都：武蔵野総合体育館 ①-②東京都：BumB 東京スポーツ文化館 ②北海道：札幌国際大学 ③長野県：戸狩温泉スキー場	連盟 主催団体 自治体

3. 協力事業

NO	事業名	日程	主催者	備考
1	icetee cup		特定非営利活動法人 icetee	後援
2	ダイバーシティ・パーク2024in新宿	2024年10月5-6日	ダイバーシティ・パーク実行委員会	後援

2024年度 VI-WG 事業報告

1. 会議開催

NO	事業名	会議日時	会場	参加人数
1	VI-WG会議	2024年8月	オンライン	6
2	VI-WG会議	2024年10月	オンライン	7
3	VI-WG会議	2025年2月	オンライン	4
4	VI-WG会議	2025年2月	オンライン	6
5	VI-WG会議	2025年5月	オンライン	6
6	VI-WG会議	2025年6月	オンライン	6

2. 講習会事業

NO	事業名	開催日	会場	費用面
1	【人材育成アルペン】VIガイド 視覚障害者アルペンスキーガイドスキーヤー養成講習会	2024年12月21-22日	長野県：横手山	パラサポ助成
2	【人材育成】ノルディックVIガイド ガイド講習会	①2024年9月10日 ②2024年10月19日	①北海道：旭川 ②愛知県：モリコロパーク	
3	視覚障がい者スキー体験教室	2024年11月21日	長野県：松本盲学校	JPSA 地域における パラスポーツ の振興事業